

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立 小川高等学校 全日制課程)

目指す学校像	伝統校としての自覚を持ち、学習に重きを置き、行事や部活動等に主体的にチャレンジする生徒を育成する。
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 進学選抜クラスを核とする普通科全体の学力向上に努め、個々の生徒のキャリア意識の向上と進路指導の充実をはかる。 2 基本的な生活態度の確立をはかり、学校行事、部活動等に主体的に取り組む生徒を育てる。 3 保護者や地域との連携をはかり、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	6名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (1 月 3 1 日 現 在)		実 施 日 平 成 3 1 年 2 月 2 5 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p>【現状】 生徒は落ち着いて概ね意欲的に授業に取り組んでいる。 普通高校の特徴である偏らない学力を向上させることにより、生徒たちの多様な進路希望は概ね実現されている。</p> <p>【課題】 生徒の進路への意識を高め、学校全体で生徒の学習環境を一層充実させ、確かな学力の向上を図る取り組みが必要である。本校独自の学力向上の取組に加え、「未来を拓く『学び』プロジェクト」の推進を中心に授業改善に取り組み、より高い進路希望の実現を図る。</p>	<p>1 生徒の学力を把握し、基礎学力を向上させるための授業力の向上。</p> <p>2 進学選抜クラスの進路実現に向けた体制作り。</p> <p>3 3年間を見通した進路ガイダンス、進路に応じた補習等、多種多様な進路希望に応じた指導の充実</p> <p>4 進学希望者に対する指導の充実。</p>	<p>1 教員を授業力向上のための研修に参加させるとともに、校内で公開授業・授業研究を開催する。【年2回】</p> <p>2 学年・教科・委員会と連携し進学選抜クラスの生徒の学習環境の整備に努める。</p> <p>3 計画的にガイダンスを行的確な情報を提供し各進路希望に応じた小論文指導・面接指導・対策講座を実施する。【通年】</p> <p>4 スタディサプリの円滑な運営、学校独自の進学対策講座を行う。</p>	<p>1 全学年・教科による学力把握と分析、基礎学力向上の取り組みが丁寧に行われたか。</p> <p>2 各教科と連携しつつ、進学選抜クラスの生徒の学習意欲を高め学習できる環境を整えることができたか。</p> <p>3 生徒の意識を高めながら、計画的・効率的にガイダンスや指導を行えたか。</p> <p>4 生徒の現状と希望を踏まえた対策講座を実施できたか。・生徒アンケートで進路指導満足度8割</p>	<p>○委員会機能の充実により授業改善を実施できた</p> <p>1 11月公開授業週間を設け、教員同士が授業観察できる環境を作った。(本年度新規) 夏季休業中に24の補習講座を開講した。(H29は21講座)</p> <p>2 進学選抜クラス委員会を中心に、学年、各教科と連携して学習環境の向上に努めた。夜間に図書館を解放したことにより自主学習をする生徒が日常的に見られるようになった。</p> <p>3 各種ガイダンス、小論文指導、面接指導、対策講座を計画的に実施した。</p> <p>4 模試、予備校講師による特別講座、学校独自の進学対策講座を実施した。・生徒アンケートで進路指導満足度85.8%</p>	B A A A	<p>【課題】 1 学習環境の充実と学力・授業力向上の取組の継続。 2 進学選抜クラスの高い進路希望の実現。 3 新学習指導要領を踏まえた新教育課程の検討。</p> <p>【改善策】 1 模試、実力テスト、各種対策講座などの充実と活用方法の検討。 2 進路指導部、進学選抜クラス委員会等との連携強化。 3 本校の特色化と高大接続改革を踏まえた新教育課程。</p>	<p>・学習環境の整備は評価できる。 ・高い進路希望を実現させるために、学力に対する自信を付けさせ、受験に対する目標を明確にするための取組み、例えば、高大連携やPBL、などを強化して欲しい。 ・アンケートに上がったすべての課題に個別の対策を実施するのではなく、効果の出そうな上位1～2テーマを重点的に全校で取り組むようにした方が良い。 ・アンケートにある「授業に興味関心が持てない」については、授業力の向上に加え、徒に何事にも真剣に取り組むことをもっと教えるべき。</p>
2	<p>【現状】 生徒は穏やかで真面目な学校生活を送っている。</p> <p>【課題】 規律、自主性のある学校生活を土台に、学校行事、部活動等に主体的取組、充実した学校生活を送らせるよう指導する。 文化祭等の各種行事の準備、指導を工夫、改善する。</p>	<p>1 学級・学年・生徒指導部の連携と補助着、スカート丈の指導の徹底</p> <p>2 安全安心な学校生活をするための教育の推進</p> <p>3 生徒主体による学校行事の推進と指導体制の改善</p>	<p>1 共通理解に基づき、担任を中心に学年・生徒指導部で連携して日常的な生活指導を全職員で行う。【通年】</p> <p>2 交通安全、薬物防止、盗難防止、防災、情報モラル確立を推進する。・外部講師を招聘し講演会を実施</p> <p>3 生徒の要望を吸い上げ、生徒主体による学校行事、特に文化祭は全職員で指導し、多くの生徒の活動の場をつくる。【通年】</p>	<p>1 日常の挨拶や集団生活のルールが守れるように連携して指導できたか。・生徒アンケートで規則遵守9割</p> <p>2 安全に生活するための教育(交通安全、薬物防止、盗難防止、防災、情報モラル確立)を実施できたか。</p> <p>3 生徒の要望を吸い上げ、生徒主体による学校行事を全職員で指導し多くの生徒の活動の場を作れたか。</p>	<p>○生徒指導部を中心に基本的な生活習慣と規範を指導できた</p> <p>1 服装・頭髪指導を学年集会、全校集会などあらゆる場所で行った。・生徒アンケートで規則の遵守93.4%</p> <p>2 安全に生活する教育については、交通安全や薬物防止等を行った。それぞれ工夫した講演会等を実施し、生徒もよく話を聞いていた。</p> <p>3 委員会活動については、どの委員会も出席率が高く、明確な目標を設定し効率的に動いていた。また、教職員も協力し、足並みを揃えて指導できた。</p>	A A A	<p>【課題】 1 引き続き、頭髪、スカート丈、SNSの利用法の指導の徹底が課題。 2 HRや各行事でのリーダー育成。</p> <p>【改善策】 1 全職員共通理解の下、同じ基準での指導の徹底。 2 生徒のリーダー育成を図る企画立案。行事を学校全体で取り組む体制の整備。</p>	<p>・リーダーシップと同時に、フォロワーシップを身に付ける教育をして欲しい。 ・生徒の規律性を向上させる取組は評価できる。 ・学校として決めた方向性や方針については、実行計画をできるだけ明確にし、達成進度の見える数値目標が必要。</p>
3	<p>【現状】 学校説明会等の実施時期や内容を工夫すると共に、近隣中学校主催の進路説明会にも全て参加し、募集定員の確保に努めている。また、PTA行事についても、より多くの保護者が関わりやすいように改善している。さらに、PTAニュースやメールシステムを活用し、適切な情報発信に努めている。</p> <p>【課題】 本校の魅力の的確に伝えられるように、ホームページ等の更新に工夫を加える。また、「小川高校『ふるさと創生プロジェクト』」の推進により、地域と学校が共に生徒の成長を支援する体制を作る。</p>	<p>1 学校説明会、個別相談会、授業公開、中学校訪問、中学校進路説明会の効果的な実践。</p> <p>2 保護者と連携しながらの教育環境の改善・向上。</p> <p>3 地域と共同した行事の推進と指導体制の改善</p>	<p>1 全職員が協力して、本校の魅力伝えていく。 ・年3回の外部向け授業公開 ①本校保護者及び中学生とその保護者に公開 ②彩の国教育週間 ③学習塾等対象の授業公開 ・年5回の学校説明会と全職員による年2回の中学校訪問。</p> <p>2 登校指導や文化祭などの学校行事を中心に協力。</p> <p>3 地域行事の参加について全職員で指導し、より多くの生徒に地域貢献の機会を与える。【通年】</p>	<p>1 生徒募集に関わる行事に全職員が積極的に参加・協力して取り組み、充実したものになったか。</p> <p>2 登校指導や文化祭などの学校行事を保護者と共に協力して実施できたか。</p> <p>3 学校全体で10以上の地域行事に参加させ、地域とともに生徒を指導できたか。</p>	<p>○開かれた学校づくりを全校で推進できた</p> <p>1 学校説明会や個別相談会を年5回実施するとともに、年3回の公開授業、2回の中学校訪問等を通じて、全職員が協力して取り組むことができ、充実したものになった。</p> <p>2 登校指導(年5回)、文化祭バザー、図書館ボランティア(毎日)等、保護者の協力を得ながら実施し、教育環境を改善させた。</p> <p>3 町と包括連携協定を結び、10以上の地域行事に協力することで、県教委だよりや県のHPなどに上げられるとともに、本校のHPでも新たな魅力を有益な情報を発信できた。</p>	A A A	<p>【課題】 1 学校説明会や中学校訪問等を通しての本校の魅力の発信と募集人員の確保。 2 PTA行事の見直し、保護者へのPRを工夫。 3 町との更なる連携強化。</p> <p>【改善策】 1 生徒募集に関する行事は、年度当初から職員に参加を要請。 2 PTAニュースを通して、保護者への情報発。 3 新規事業「おがわ学」への積極的な取組。</p>	<p>・「おがわ学」を通じて、小川高校の魅力アップを図って欲しい。 ・「ふるさと創生プロジェクト」の報告書を読むと、参加した生徒がとてもいい経験をしているので、今後も継続して展開してほしい。 ・年間を通して行われる学校のイベント等については、広く声をかけるだけでなく、参加目的と狙いとする効果を検討的を絞って声掛けをしていけば、さらに人数は増やせるはず。</p>

